

3年間で大きく成長した生徒達と、4年間で大きく成長した遊佐の鮭たちの写真



こんなに
大きくなりました。



遊佐高魅力通信

遊ばざる者、学ばべからず！

お互い
成長した姿で

4年後
また会おう！

生徒にインタビュー

初めての稚魚放流は、楽しみと同時に悲しみを覚える体験でした。施設の方から、放流しても多くは戻らないと聞き、生命の尊さと養殖の難しさを実感しました。遊佐町の新たな産業を知り、4年後の鮭の帰還が待ち遠しくなりました。



石垣風臈(なぎさ)さん

鮭の稚魚放流会

2月27日、1年次生が榊川鮭人工孵化場を見学しました。

遊佐で育てられてた稚魚、そこにかけられた情熱に触れました。

そして4年後の再会を誓い、稚魚を放流しました。その後は生涯学習センターで、鰯汁を食べ、ワークショップを行いました。

4年後、遡上してきた鮭たちと会うときには1年次生は遊佐高校を卒業しています。

その時には皆どんな成長をとげているかな？

鮭の成長も生徒の成長も楽しみです！



「稚魚放流の様子」
稚魚の皆さん、行ってらっしゃいー！！



ブレイクタイム この人注目

遊佐高生、先生、コーディネーターの3名をそれぞれ月ごとに紹介します。今回のテーマは鮭の放流に絡めて「4年前から見る今の自分」について写真は4年前（左）、現在（右）

遊佐高校2年次生

大谷花(はな)さん



4年前、人前に出ることが苦手だった私は、人前に立ちプレゼンすることが楽しいと思えるようになった今の自分を見てとても驚くと思います。過去の私に「人は変われる」という希望を持ってくれたら嬉しいです！

コーディネーター

鈴木晴也(せいや)さん



遊佐町地域おこし協力隊1年目が終わる3月。誕生日に高校生から顔面クリームのプレゼントをもらう僕は、30歳になり、身体の限界と人生の難しさと向き合っている自分を尊敬すると思います。想像よりも現実、はるかに面白い。

コーディネーター

松尾尚記(なおき)さん



4年前から今の自分を見ると、自身の成長とワクワクしていることを感じることでしょう。あの頃は想像もできないくらい多くの活動を大学生活4年間でやってきました。さて、4年後の自分はどんな姿かな？

つぶやき掲示板

あたらしい協力隊が町に来たらしいよ。
遊佐高校とも沢山関わってほしいなあ。
いったいどんな人なんだろう。気になるー。

学校ホームページ



遊佐高校公式
インスタグラム



遊佐高魅力通信とは！？ お問い合わせはコチラ▼

遊佐高校、遊佐町で過ごす高校生のありのままをお伝えする通信。

生徒たちの日々の活動を

皆さんと一緒に分かち合えたら

嬉しいなあと思ひながら発信しています。

文責：吉田実、下村俊太郎
minomountain42@gmail.com
(地域おこし協力隊 吉田)
juntenshimomura@gmail.com
(地域おこし協力隊 下村)
kikaku@town.yuza.lg.jp
(遊佐町役場 企画課 企画係)